**鵰門**

クマタカ（鵰）は日本とアジア原産のクマタカに由来している。この猛禽類とかつてここにあった城門のつながりははっきりとしていないが、一説には姫路の大名がこの近くで狩用の鳥を飼っていたからではないかと言われている。

姫路城が大名から他の大名に移ったとき、新しい大名の家来や家臣は、鵰門から城下町に入ってきた。元の家臣たちは、別のルートで城下町を離れなければならなかった。

鵰門の前にある土橋は、ダムのような役割を果たし、堀の水位を保つことができた。橋を浸水させることで、対岸の水位を変えることができた。